



BeforeAfterCV server

[ビフォーアフターシーブイサーバー]

Windows版 設定マニュアル

ver.180830







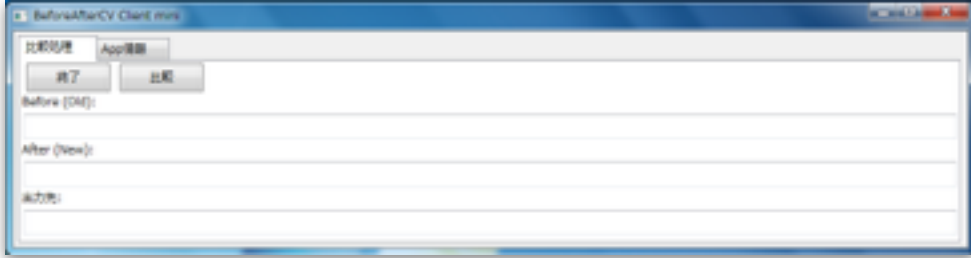


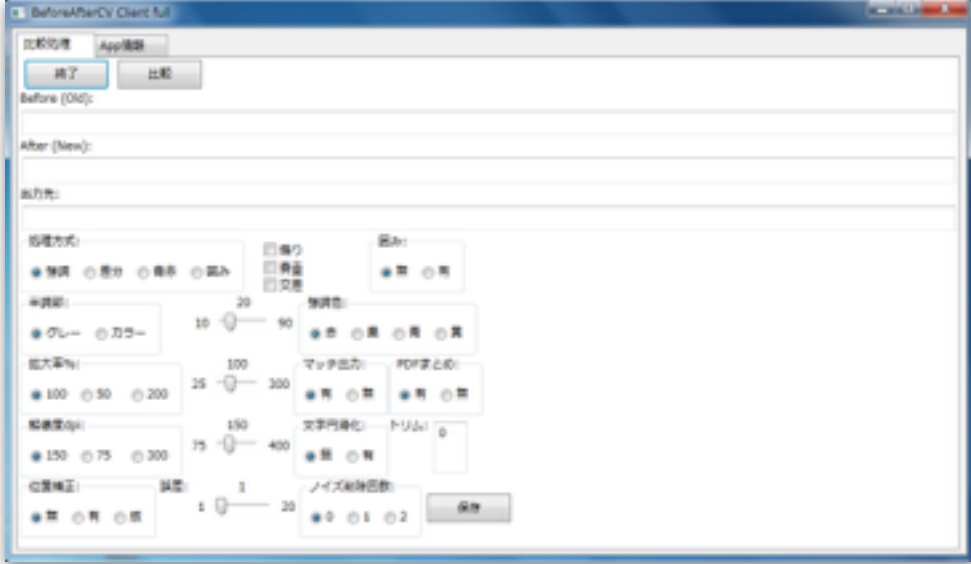
CVは、Comuter Visionを意味します。

・動作環境

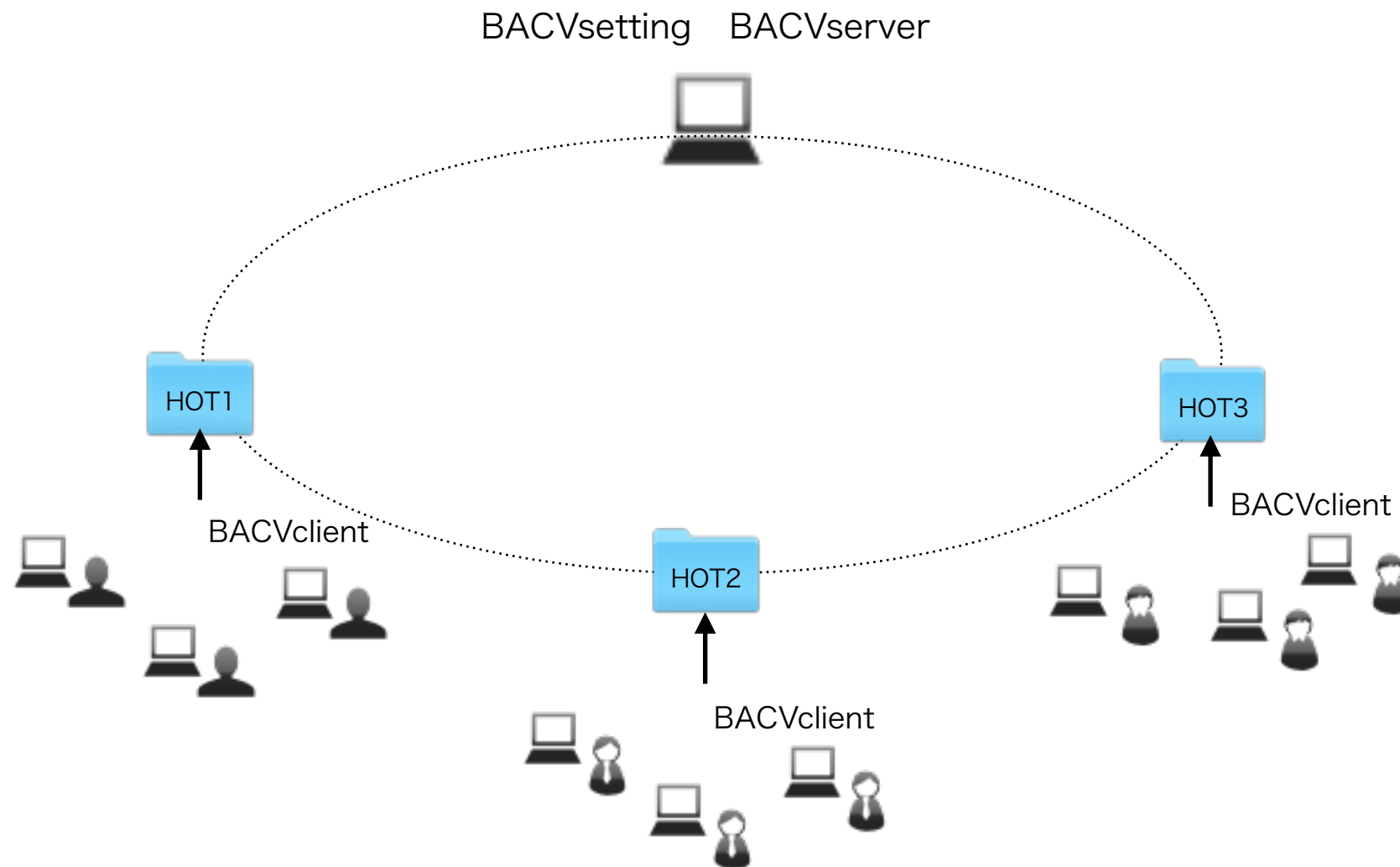
- ・ Windows7以降、CPU 32/64bit
- ・ 比較PDFはフォントが埋め込まれていること

・ プログラム一覧

| icon | アプリ名称 | 稼働 | 起動 | 終了 | 機能 |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|--------|---------|-------|---------------------------------------------------------------------|
|  | BACVserver | サーバ | ダブルクリック | 強制終了 | バックグラウンドで起動し続ける。 HOTフォルダへのデータ投入を検知し、比較処理を行う。 |
|  | BACVsetting | サーバ | ダブルクリック | 終了ボタン | HOTフォルダの指定 HOTフォルダの処理パラメータの設定 管理者情報の設定 シリアル番号の設定 |
|  | BACVclient | クライアント | ダブルクリック | 終了ボタン | HOTフォルダへのデータ投入を行う。 HOTフォルダの処理パラメータで、比較が行われる。 |
|  | BACVclient_full | クライアント | ダブルクリック | 終了ボタン | HOTフォルダへのデータ投入を行う。 処理パラメータを設定して、比較が行われる。 (HOTフォルダの設定より、優先される) |

| icon | アプリ名称 | ユーザインタフェース |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | BACVserver | なし |
|  | BACVsetting |   |
|  | BACVclient |   |
|  | BACVclient_full |   |

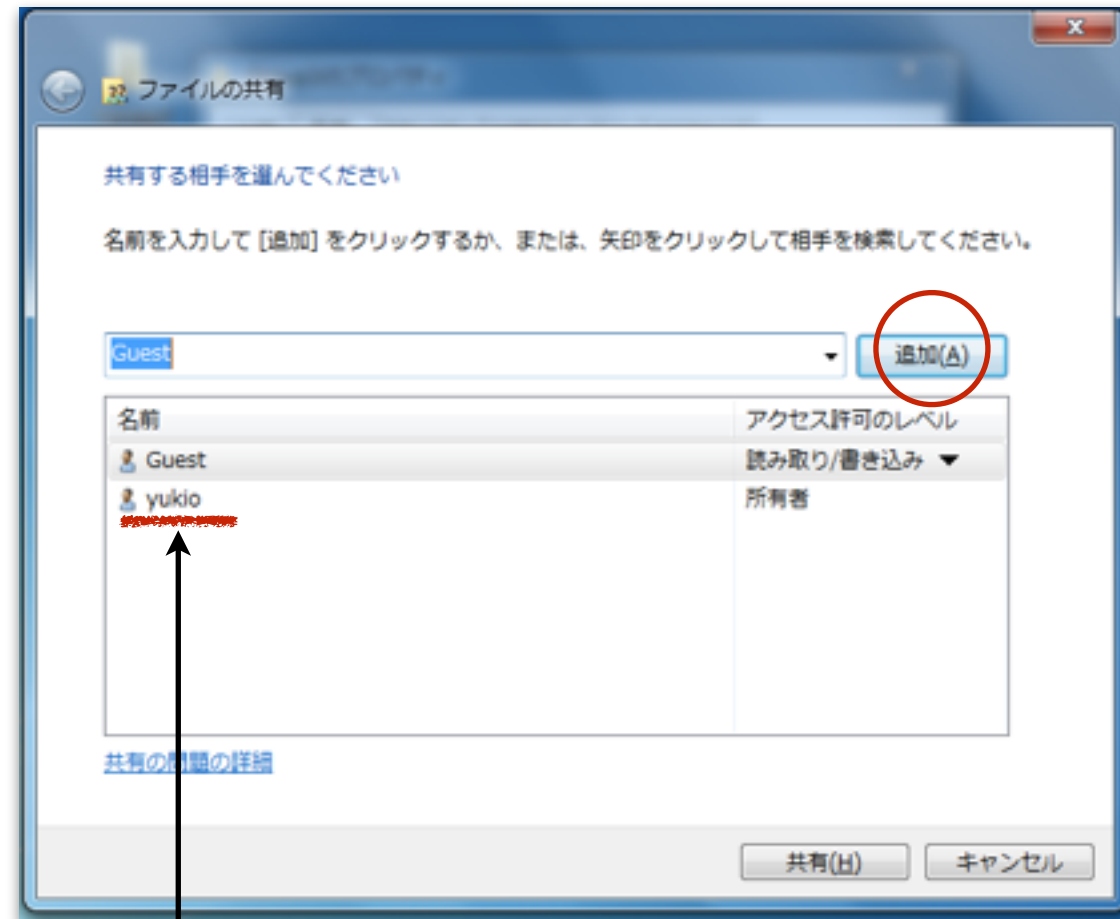
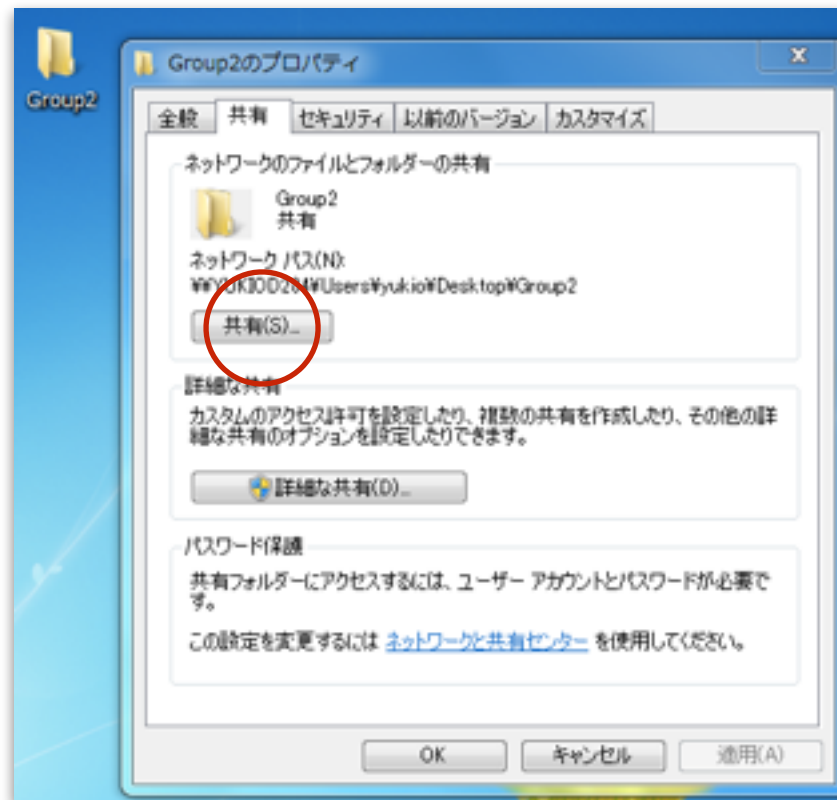
・利用イメージ



設定手順

| No. | 設定手順 | 確認事項 |
|-----|--------------------|-----------------------------------------------------------------|
| 1 | HOTフォルダを設定する | ユーザ、グループの権限を設定します |
| 2 | データ投入を確認する | サーバ機からHOTフォルダにデータ投入できるか確認します クライアント機からHOTフォルダにデータ投入できるか確認します |
| 3 | BACVsettingを起動する | 1. 管理者情報、2. HOTフォルダ、3. 処理パラメータ、 4. シリアル番号 をBACVに登録する |
| 4 | BACVserverを起動する | 1. 監視フォルダが表示されますので、確認します 2. 起動中の注意 |
| 5 | BACVclientでデータ投入する | クライアント機からHOTフォルダにデータ投入できるか確認します |
| 6 | HOTフォルダの直下で比較する | 10秒前後で処理を開始します 比較フォルダの直下に、log.txtを作成します |
| 7 | 終了後、ENDフォルダに移動する | 比較完了ならENDに、エラー発生はBADに移動します |

1. 共有フォルダの設定（サーバで実行）



所有者は、必ず管理者であること！

HOTフォルダを選び、プロパティを表示します。

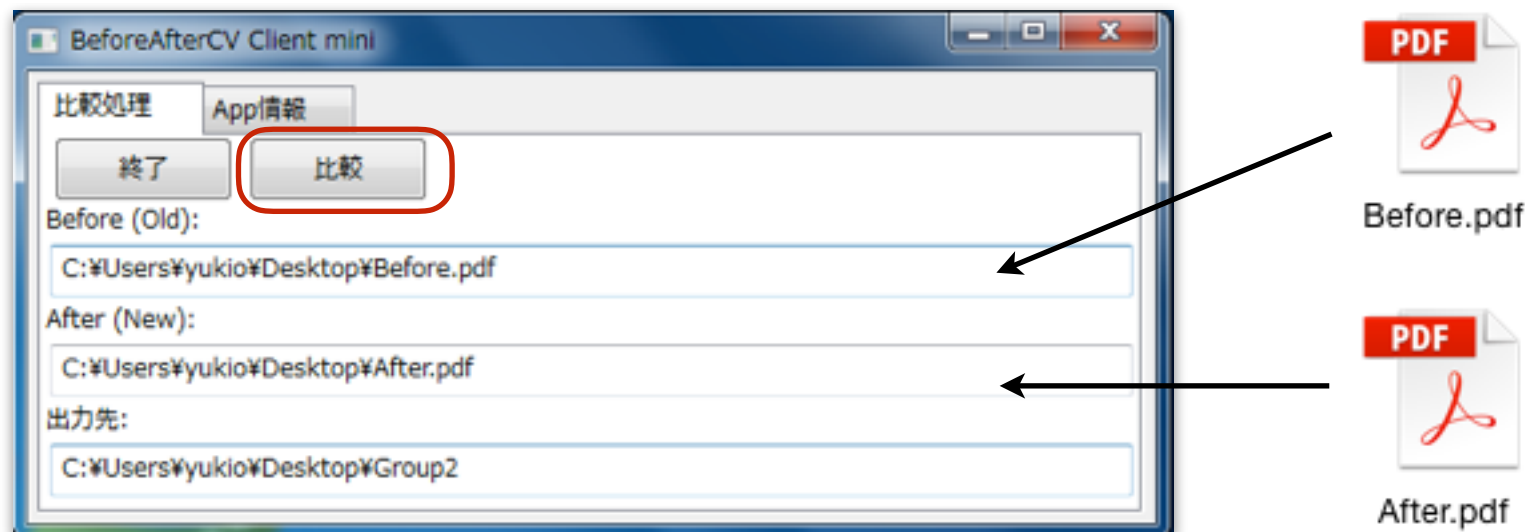
「共有」ボタンを選び、「ファイルの共有」画面から利用者と権限を設定します。

HOTフォルダの所有者は必ず管理者（このキャプチャではyukio）にしてください。

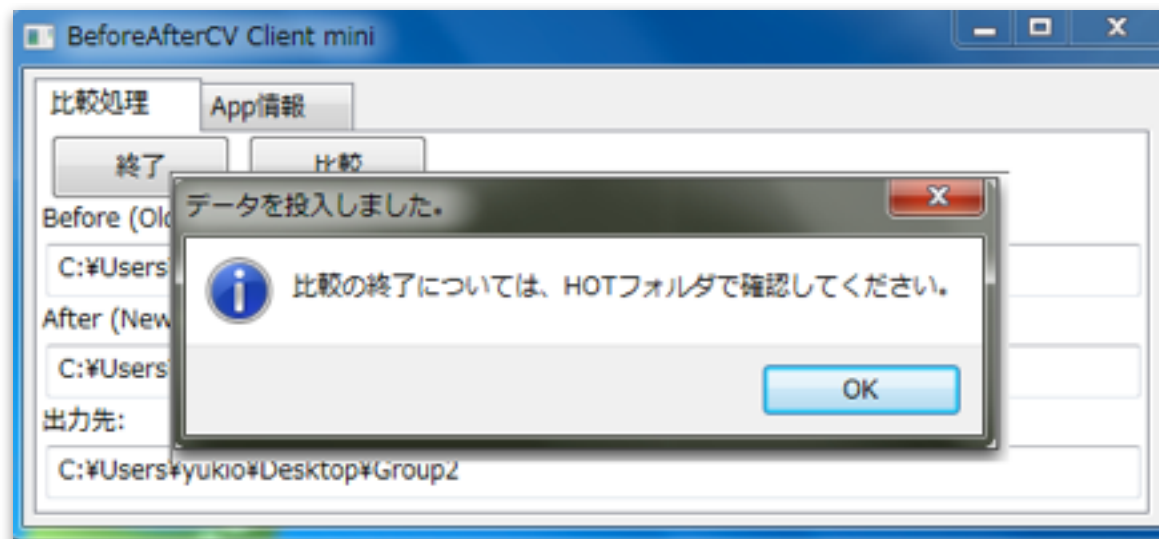
注）HOTフォルダはサーバ機内のフォルダを設定することを推奨します。

ネットワーク上のボリュームを指定する場合、管理者を登録できない場合があります。
その場合、そのフォルダで読み書きできることを確認してください。

2. データ投入できることを確認する（サーバ機とクライアント機で実行）

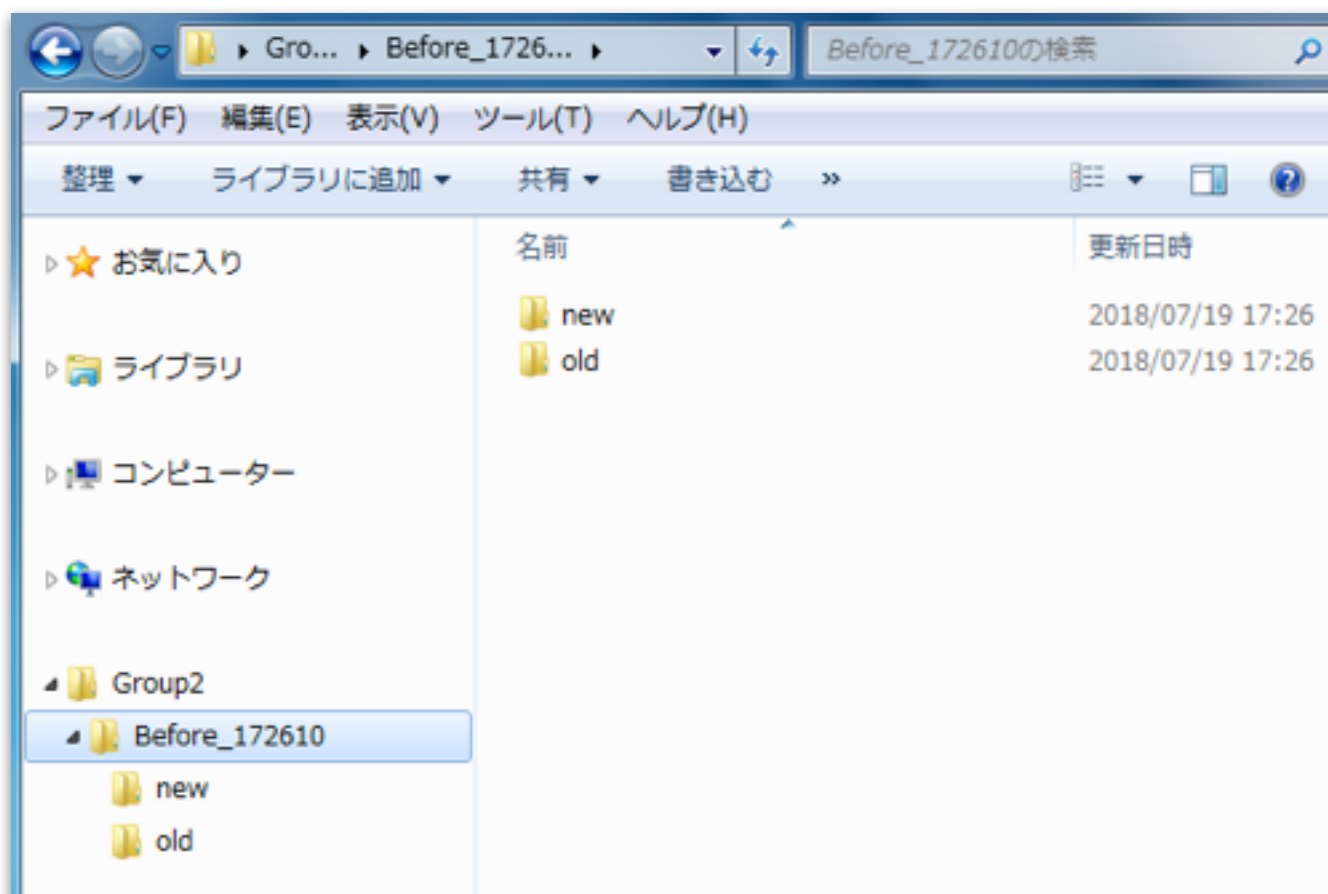


BACVclientを起動し、Before、Afterに比較データをドロップ。
出力先に、前で設定したHOTフォルダを指定し、「比較」ボタンを押します



コピー完了すると上記のダイアログが出ます

ここでは、比較は行いません。
権限に問題がなく、データ投入できることを確認します。



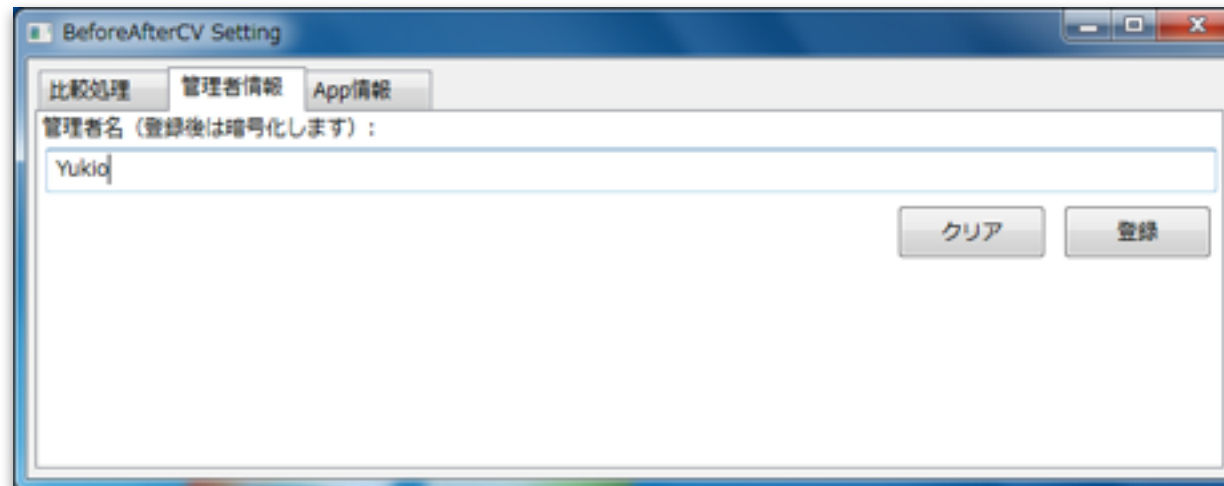
HOTフォルダに「Beforeのファイル名+時間」のフォルダが作られ、
その中に「old」「new」のフォルダが作られ、データがコピーされます。
コピーされることを確認したら、HOTフォルダにあるデータは削除してください。

これを、サーバ機とクライアント機の両方から行ってください。
パスワードを求められたり、コピーされない場合、HOTフォルダまたは投入者の権限設定に誤りがあると思われます。
システム管理者にコピーできるよう設定を依頼してください。

3-1. BACVsettingを起動（サーバで実行）－管理者情報の登録

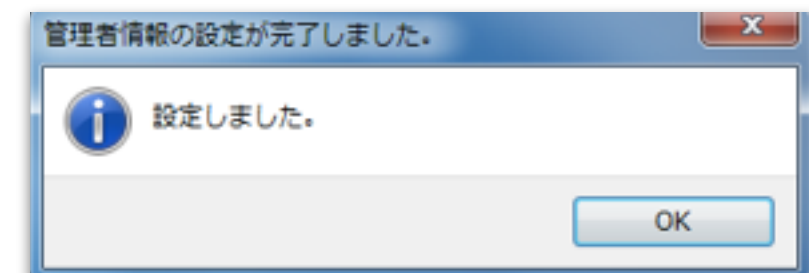


管理者情報を登録します。

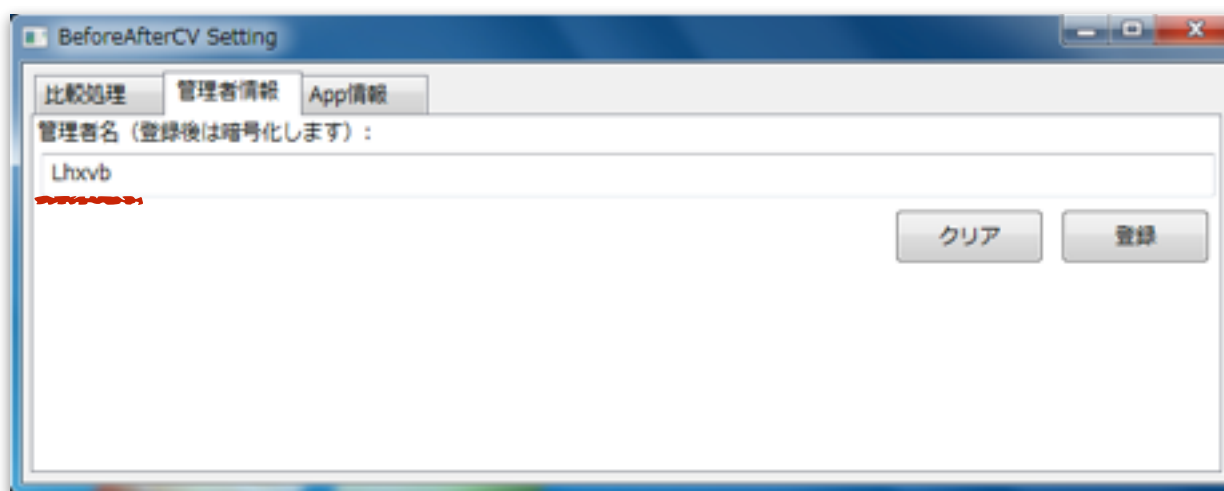


① 管理者情報のタブを選択します

② 「登録」 ボタンを押します
→ 完了ダイアログが出て、終了します

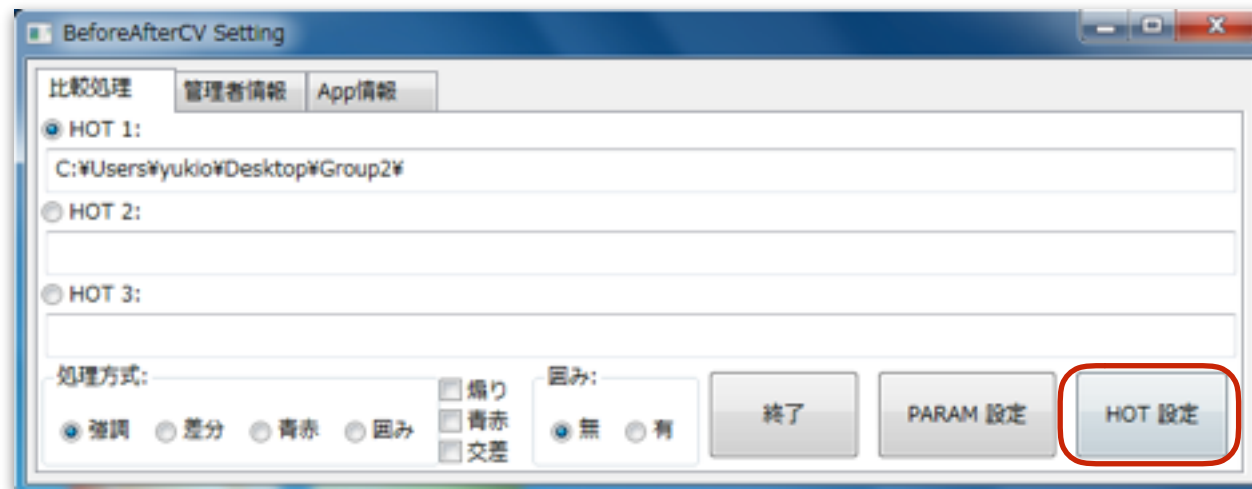


BACVsettingを終了後、再度起動すると、管理者情報は暗号化されて表示されます



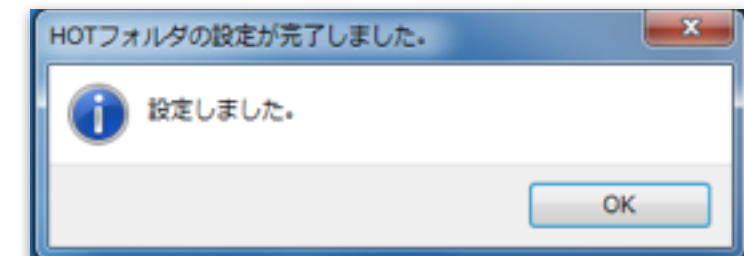
Windowsでは、パスワードは、使用しません。
任意の文字列を入力してください。

3-2. HOTフォルダの登録

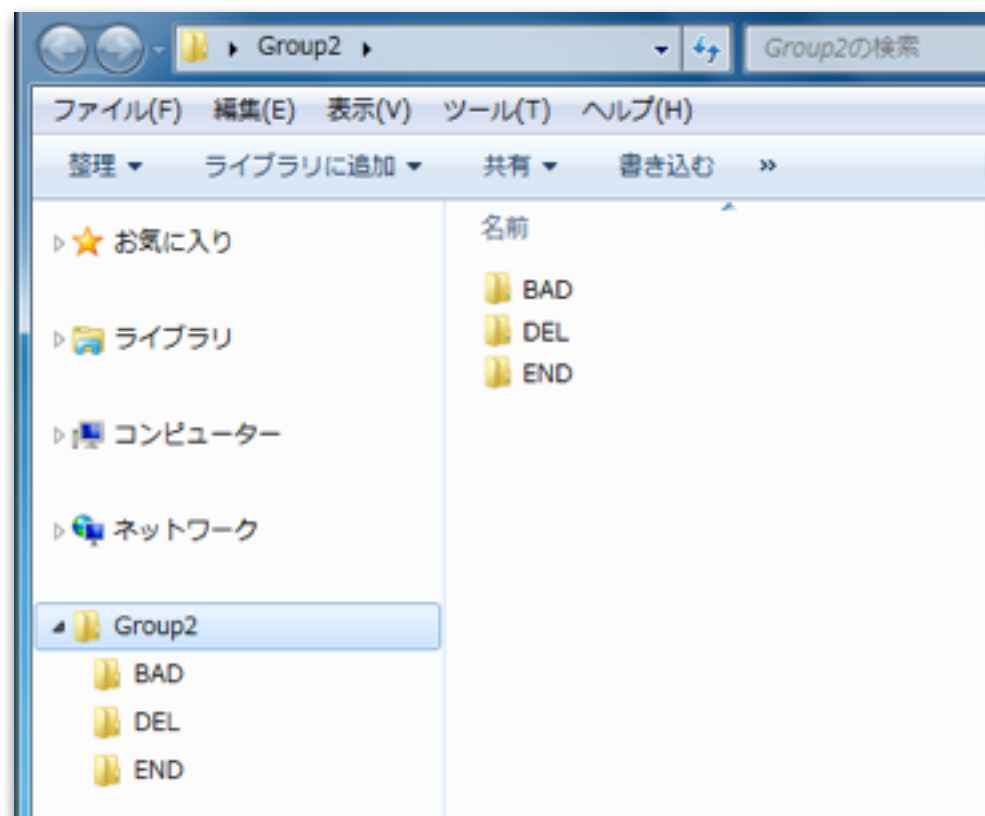


① HOT1に「共有フォルダの設定」のHOTフォルダを指定します。

② 「HOT設定」ボタンを押します。
→ 完了ダイアログが出て、



③ HOTフォルダに、BAD、DEL、ENDフォルダが作成されます。



注意：

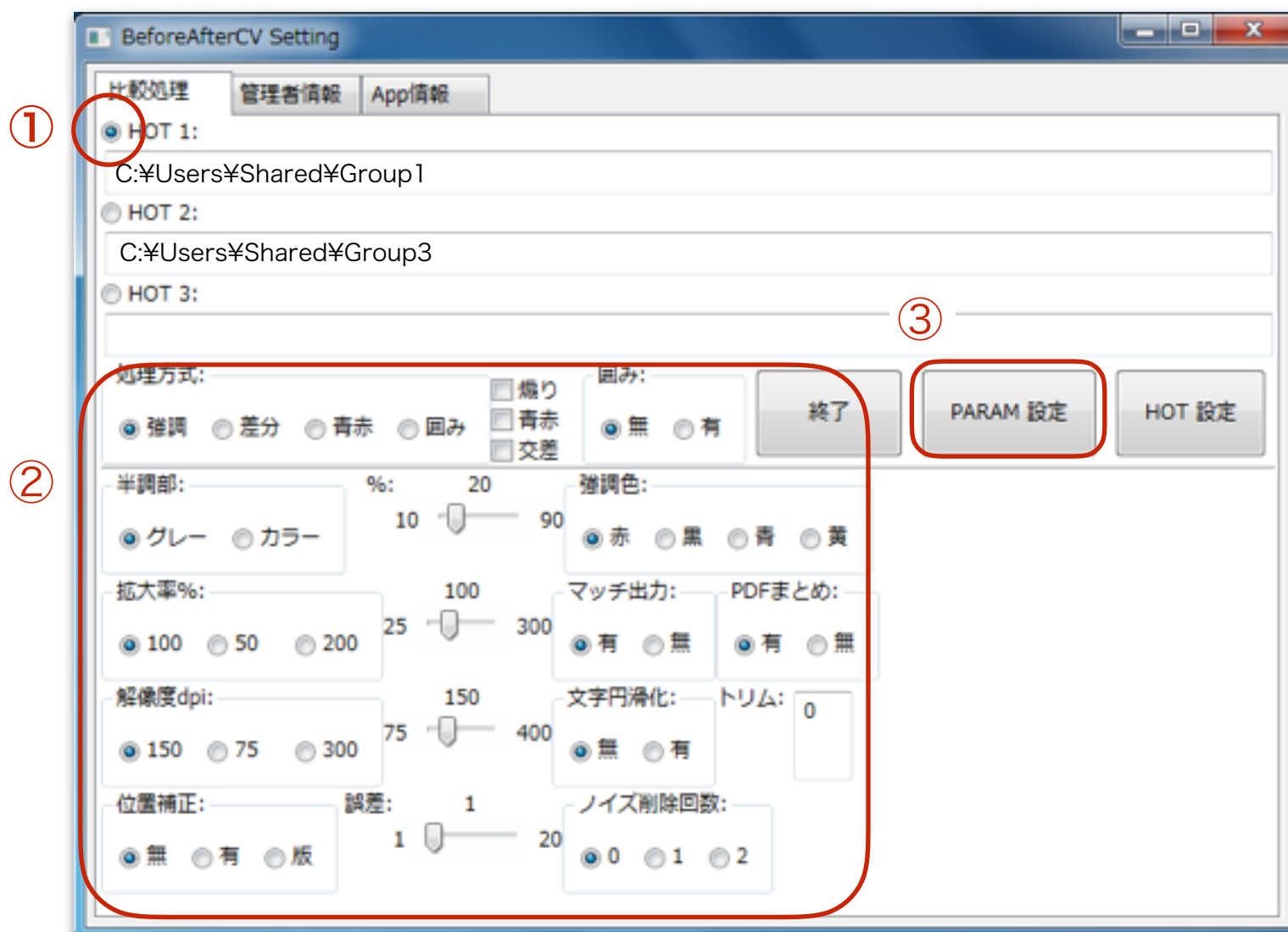
HOT設定ボタンを押すと、HOT1～3の全ての設定を行います。

HOTフォルダは、HOT1, HOT2, HOT3の3個まで作成できます。

一度、HOT設定をした後に、HOTの変更を行った場合、BACVsettingで再設定が必要になります。

3-3. 処理パラメータの登録

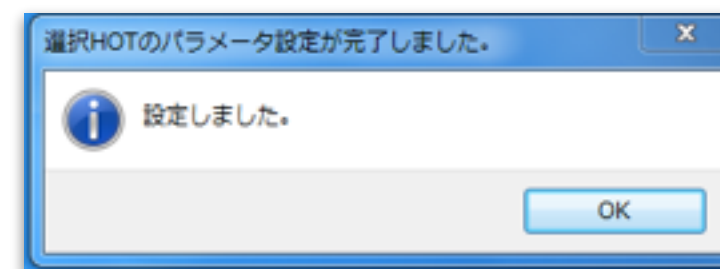
HOTフォルダでどのような比較を行わせるか、パラメータを設定します。



①HOT1,2,3のどれを設定するか、
チェックします

②パラメータをセットします
(詳細はパラメータ設定のマニュアルを
参照ください)

③ 「PARAM設定」 ボタンを押します。
→ 完了ダイアログが出て、終了します。



HOT2、3に設定する場合、上記と同様にチェックを入れ、
パラメータを設定し「PARAM設定」ボタンを押す を実行してください。

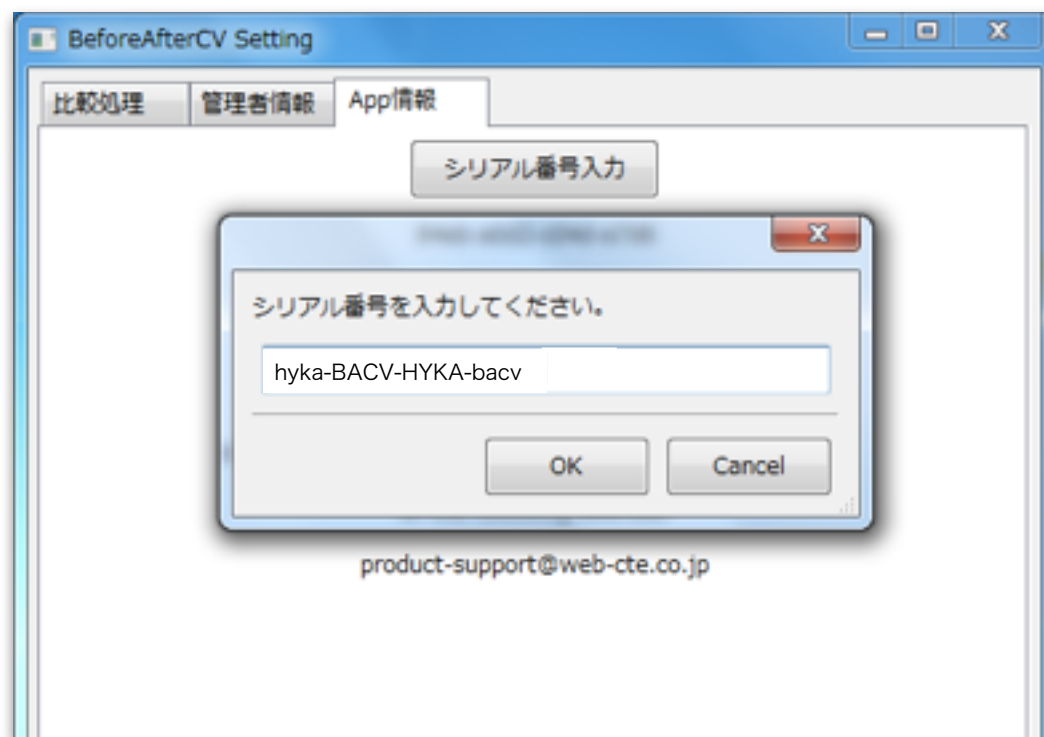
注意：

HOT設定と異なり、HOT1, 2, 3の個別の設定になります。

「各HOTにチェックを入れて、PARAM設定ボタンを押す」を繰り返してください。

3-4. シリアル番号の登録

シリアル番号を入力します



① App情報のタブを選択します

② 「シリアル番号入力」 ボタンを押します。

デモ版は、demo-BACV-DEMO-bacv が設定済みです。
20回使用できます。

評価版は、hyka-BACV-HYKA-bacvに設定してください。
上記いずれかになってない場合、入力してください。
正規のシリアルを入力すれば製品版になります。

正しければ、入力値が表示されます。
間違っている場合、
bad!-bad!-bad!-bad!の表示になります。

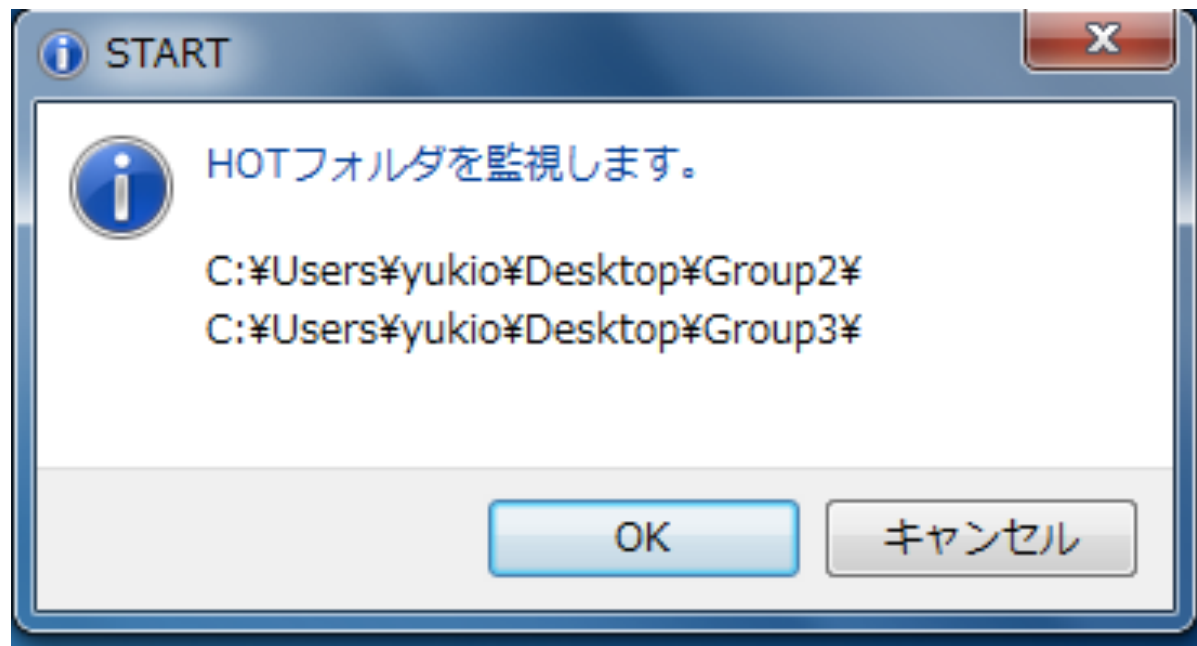
③ 「登録」 ボタンを押します

→ 完了ダイアログが出て、終了します

以上で、BACVsettingの作業は終了です。

「比較処理」タブにある「終了」ボタンを押して、終了してください。

4-1. BACVserverを起動する（サーバで実行）

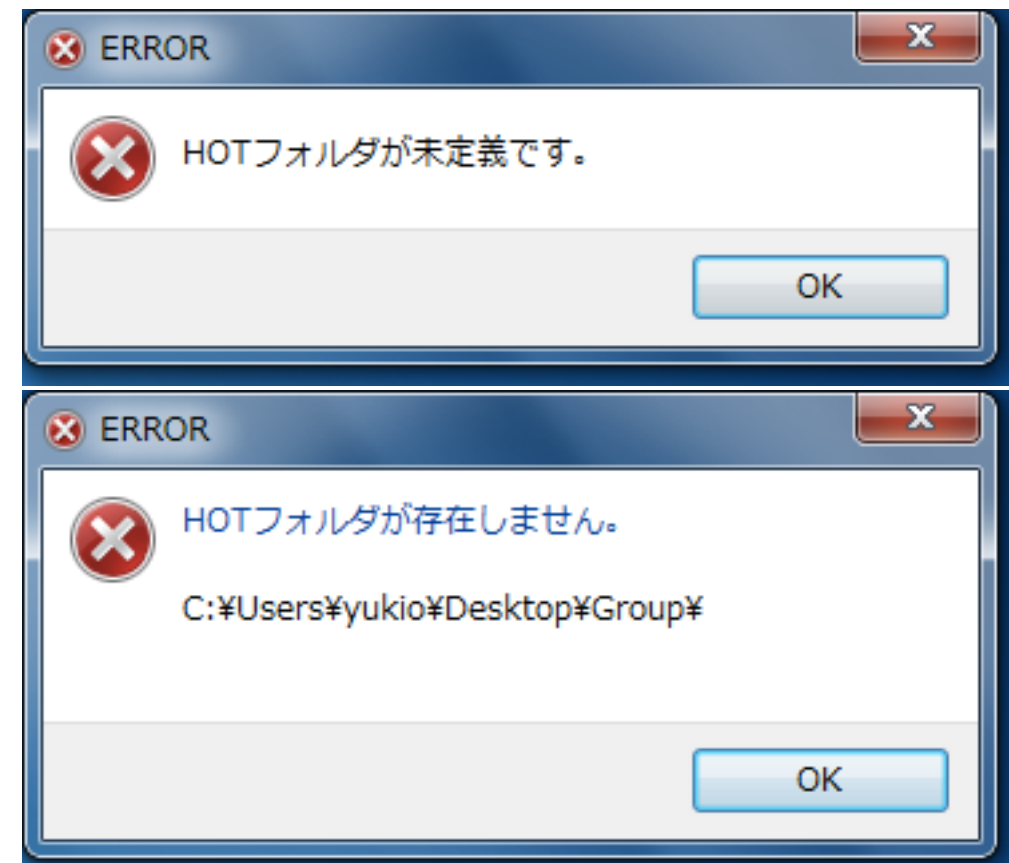


- ①ダブルクリックして起動します
- ②左のダイアログが表示されます
(表示までに時間がかかる場合があります)
- ③HOTフォルダを確認してください
問題がなければ、OKボタンを押してください。

→ HOTフォルダの監視が始まります。

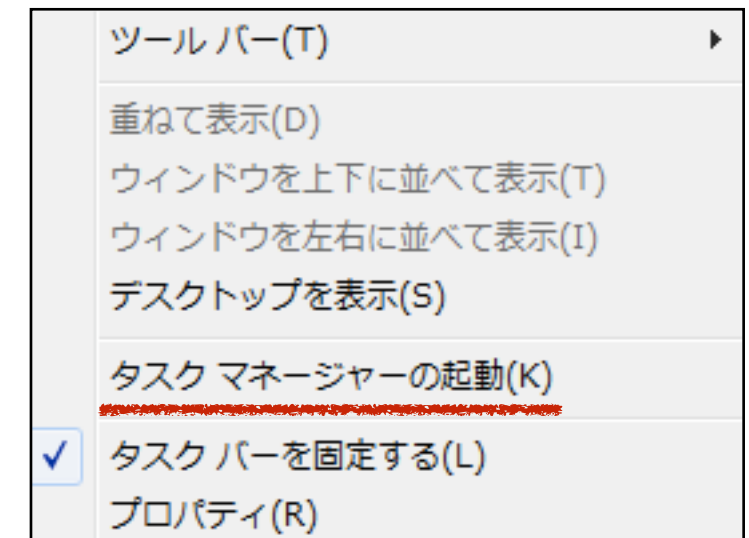
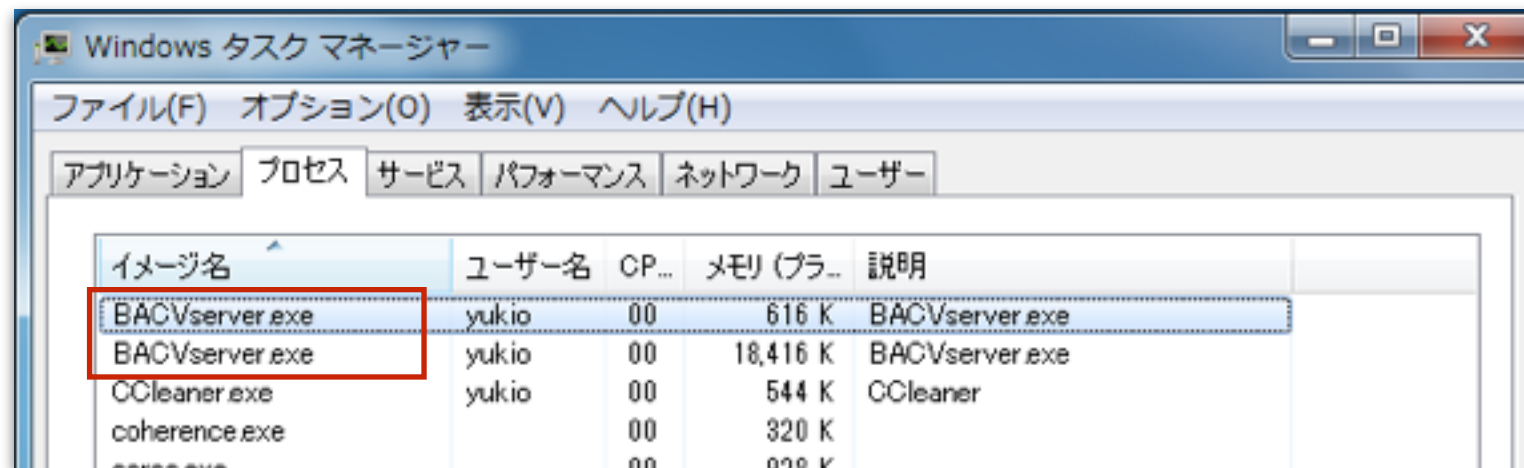
HOTフォルダの未定義、または、存在しない場合、エラーを出します。
OKボタンを押して終了します。

エラーの場合、BACVsettingを起動して、
HOT設定をやり直してください。



4-2. BACVserver起動中の注意

BACVserver、2つのプロセスが実行されます。タスクマネージャでは、次のように表示されます

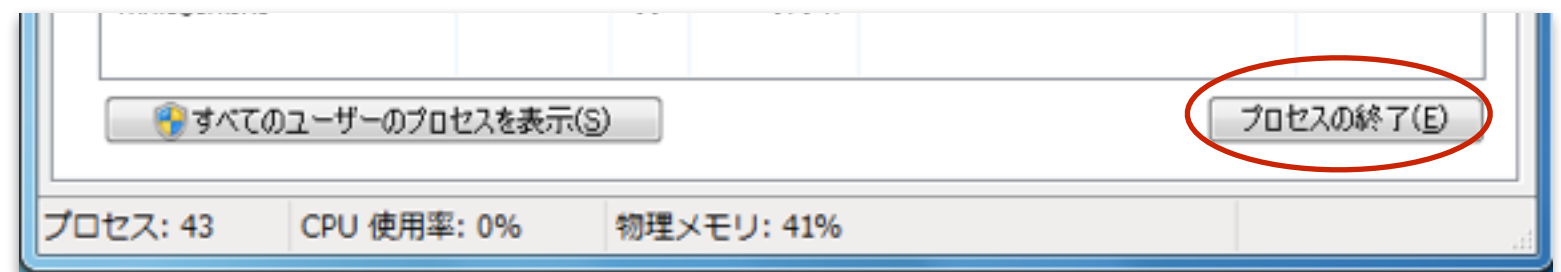


起動途中にダブルクリックすると、プロセスが増えてしまいます。
2つのプロセスだけであることを、確認してください。



BACVserverを終了する場合

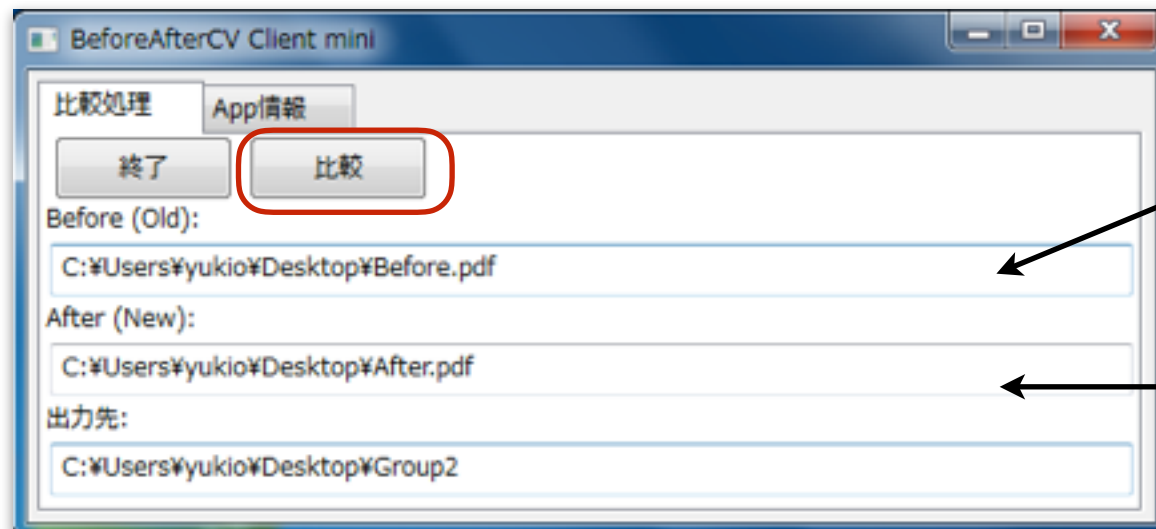
タスクマネージャから、
BACVserverを選び、
「プロセスの終了」ボタンを押します。



5. BACVclientからデータ投入する（クライアント機で実行）



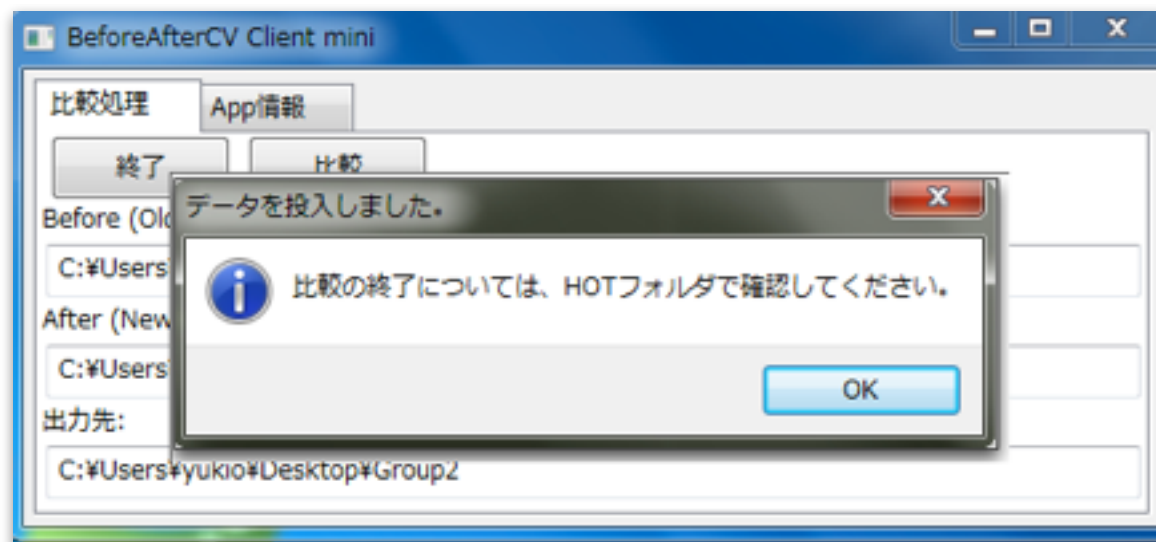
クライアント機で、BACVclientを起動します。



①Beforeに比較元データをドロップ、
Afterに比較先データをドロップします。

②出力先に、HOTフォルダをドロップします。

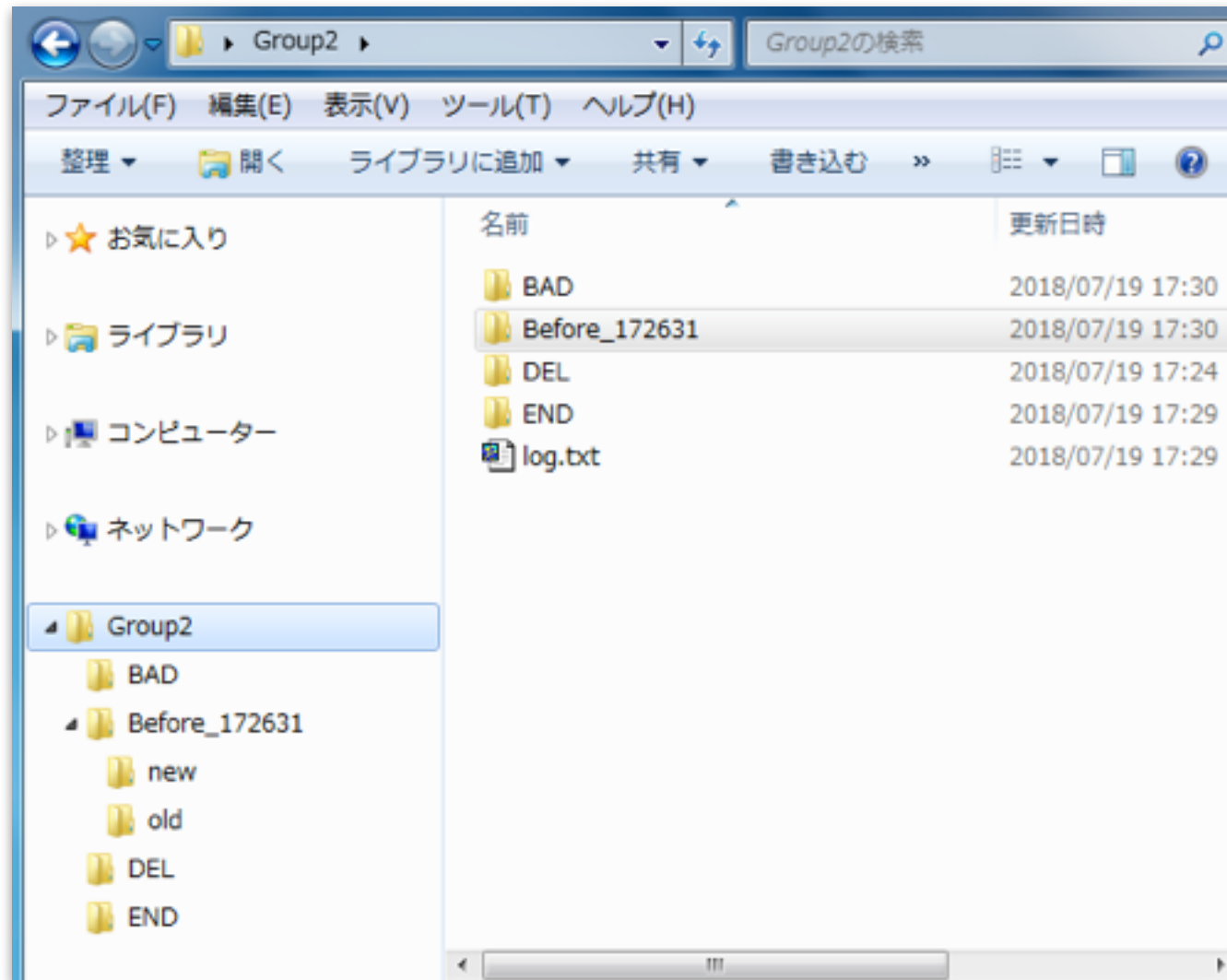
③「比較」ボタンを押す
HOTフォルダに、データをコピーします。



コピー完了すると左のダイアログが出ます

6. HOTフォルダの直下で比較する

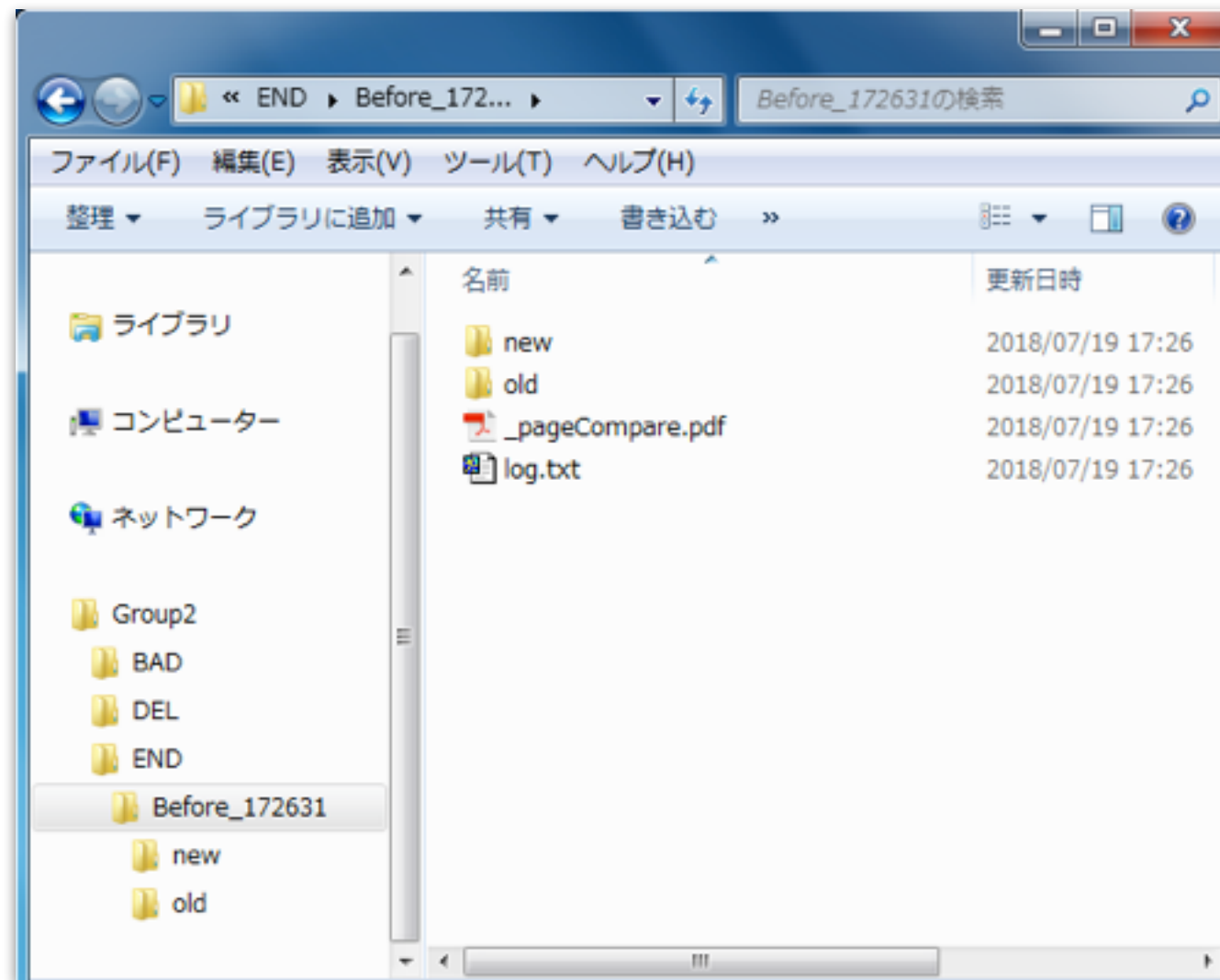
10秒程度で、データ投入を検知し、比較処理が開始されます



HOTフォルダに「Beforeのファイル名+時間」のフォルダが作られ、その中に「old」「new」のフォルダが作られ、データをコピーされます。

比較処理が始まると、log.txtを作成されます。

7. 終了後、ENDフォルダに移動する



比較が終了すると、ENDフォルダに移動します。
エラー等あった場合、BADフォルダに移動します。

・自動削除処理

ENDフォルダ、DELフォルダ内のデータは、比較処理が行われるタイミングで、作成後からの経過時間をチェックしています。

作成後から、24時間経過したものは、DELフォルダに移動します。48時間経過したものは、自動削除します。

BADフォルダ内のデータは自動的に削除しません。

・ BACVclientとBACVclient_fullについて



どちらもHOTフォルダへのデータ投入ツールです。

BACVclientは、BACVSettingで設定したパラメータに従って、比較処理を行います。

BACVclient_fullは、投入者が設定したパラメータで、比較処理を行います。

クライアントで自由な設定で処理させたくない場合はclientを、そうでない場合client_fullを配布してください。

・改訂履歴

| | | |
|------------|----|-----------------------------------------|
| 2018.05.10 | …… | 新規作成 評価版設定マニュアル パラメータ編は、個人版マニュアルより流用 |
| 2018.05.28 | …… | maOS10.8以降に対応するよう修正 |
| 2018.06.01 | …… | 加筆・修正 |
| 2018.07.10 | …… | 180709版のUIに変更 |
| 2018.07.19 | …… | 180711版のUIに変更 |
| 2018.07.30 | …… | 180801版の修正追加 |
| 2018.08.30 | …… | 製品版用に修正 |

(株)シーティーイー

〒112-0005 東京都文京区水道1-9-1

Tel : 03-5689-4161 Fax : 03-5803-3381

Mail : product-support@web-cte.co.jp